黎明館講演会の御案内

演題

「家の記録を残す営みー近衛家「家記」の世界」



■ 講師　東京大学史料編纂所　教授

おのえ　ようすけ

尾上　陽介氏

～講師略歴～

昭和 62	（1987）年３月	早稲田大学第一文学部卒業
平成 4	（1992）年３月	同大学院文学研究科博士後期課程中退
平成 4	（1992）年４月	東京大学史料編纂所助手
平成 15	（2003）年８月	同所助教授
平成 28	（2016）年４月	同所教授
令和 6	（2024）年４月	同所所長、鹿児島県史料編さん顧問

■ 講演内容

摂関家筆頭の近衛家には、2027 年に没後千年を迎える藤原道長の『御堂関白記』をはじめ、明治期の『近衛篤麿日記』に至るまで、およそ千年にわたり、歴代当主の日記等が「家の記録」として残されています。今回の講演では、公益財団法人陽明文庫に所蔵されている各時代の日記原本の様子や、それを護り伝えてきた先人たちの意識について紹介したいと思います。

日　時　令和9年2月27日（土）　午後1:30 ～ 午後3:00

（午後1:00受付開始／入場無料）

場　所　黎明館　2階　講堂（自由席）

申込方法　電子申請または郵便往復はがき

（申込方法の詳細は、黎明館ホームページをご覧ください）

電子申請申込用

申込期間　令和8年12月23日（水）～令和9年2月3日（水）　消印有効

■ 主な著書・編著

『禁裏・公家文庫研究』第９輯（編著）（思文閣出版、2023年）
『中世の日記の世界』（日本史リブレット30、山川出版社、2003年）

■ 主な論文

「陽明文庫所蔵の江戸中後期近衛家歴代当主日記の原本について」（『東京大学史料編纂所研究紀要』第 36 号、2026 年）
「公益財団法人陽明文庫『一般文書目録』「仏教」の紹介（一）」（『東京大学史料編纂所研究紀要』第 36 号、2026 年（共著））
「『経光卿記』と日記の書き方」（家永遵嗣・田中大喜編『中世公家の生活と仕事　広橋家文書の世界』同成社、2025 年）

■ 主な史料編さん

『大日本古記録　平記』上（岩波書店、2022 年）
『大日本古記録　愚昧記』下（岩波書店、2018 年）
『大日本古記録　愚昧記』中（岩波書店、2013 年）

お問い合わせ
鹿児島県歴史・美術センター　黎明館
〒892-0853　鹿児島県鹿児島市城山町７－２
TEL：099-222-5404（学芸課）　FAX：099-222-5143

お申し込みにあたって

① １通（または１回）につき、２名様までお申し込みできます。

② 往復はがきに記載された住所、電子申請の際に入力されたメールアドレスに受講通知をお送りします。書き間違い、入力の間違いにお気をつけください。

③ 未就学のお子様の同伴は、ご遠慮ください。

お申し込み方法の詳細

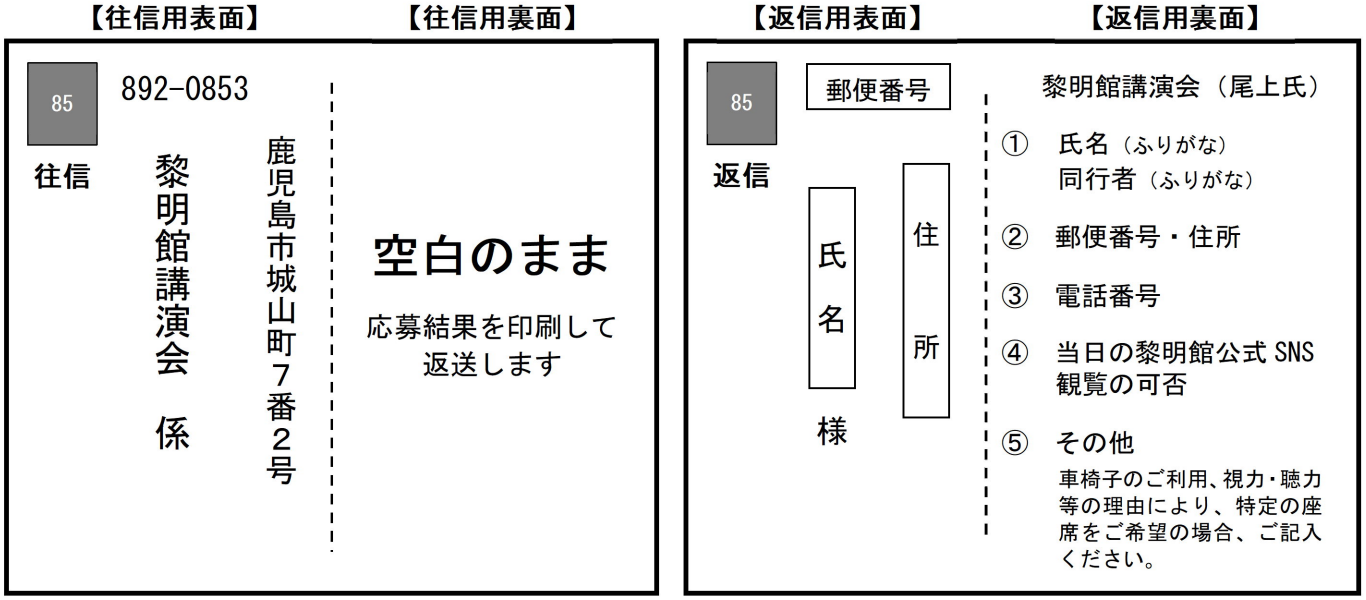
電子申請

○ おもて面の二次元コードを読み取って、「ログインせずに申請」のフォームにメールアドレスを入力し、送信してください。「メールアドレスのご確認」というメールを受信した後、メール内の URL から入力ページにアクセスし、手順に沿ってお申し込みください。

○ 黎明館ホームページの「講座・講演会」のページ内からもお申込みいただけます。

郵便往復はがき

○ 郵便往復はがき（170 円・私製を除く）に、下の記入例を参考にご記入ください。
油性ボールペンをご使用ください。



応募結果のお知らせ

① 応募者多数の場合は抽選になります。応募の結果は、開催日の１週間前を目安に、メール又は返信用はがきにてお知らせします。開催日の３日前までに通知がない場合、黎明館学芸課へお問い合わせください。

② 都合により聴講できなくなった場合も、同様にご連絡ください。

最新の情報は当館ホームページ・公式 SNS にてご確認ください。諸事情による直前の開催中止や変更等の情報については、公式 SNS（Facebook 及び X（旧 Twitter））で随時情報提供します。SNS 等の閲覧が難しい方は、当館へお電話でお問い合わせください。